

2023年3月29日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

株式会社 KAIXIA に投資実行

ニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区、代表取締役会長 安東 泰志、以下「NHC」）が管理運営する、ニューホライズン 4号投資事業有限責任組合（以下併せて「弊社」）は本日付で、株式会社 KAIXIA（本社 茨城県水戸市、代表取締役 磯崎 達也、以下「KAIXIA」）への投資を実行致しましたのでお知らせします。

KAIXIA は 1999 年に創業して以来、多数の重機を取り揃え、規模の大きさや立地条件に関わらず様々な施設の解体が可能な施工力を提供してまいりました。解体によって生じた産業廃棄物等を、風力選別機や湿式破碎選別機等を駆使する同社の最新中間処理施設で「水で洗い、水で砕き、再資源化する」独自のノウハウを活用して可能な限り削減、分別し、通常であれば最終処分場に搬入するほかない廃棄物を建設資材等にリサイクルすることで極限まで再資源化とコスト削減を実現しております。KAIXIA が事業を展開する関東圏においては、旺盛な建設需要等を背景に解体工事、廃棄物処理、再資源化の高いニーズが継続するため、同社の業績は今後も堅調に推移していくものと見込んでおります。

更に、近年、中国向けの廃プラスチック類の輸出規制をはじめ、バーゼル条約における改正付属書が発効されるなど、世界では他国からの廃棄物の輸入を規制する動きが加速しています。国内においては、特に関東圏の最終処分場はひっ迫しており、その残余容量は年々減少を続けています。資源循環型社会の実現に向けて、廃棄物の発生量を抑え、廃棄物のリサイクル率を向上させ、最終処分量を最低限に抑えることが今後益々重要になってまいります。解体工事にかかわる豊富な実績と施工力を有し、廃棄物処理にかかる高い再資源化率を誇る KAIXIA の成長を支援することは、資源循環型社会の実現の一助になると判断し今回の投資実行に至りました。

弊社は KAIXIA の全役職員と一丸となって、組織の充実や経営管理機能の一層の強化等に取り組むことで、同社が市場に創出する価値向上に尽力する所存です。

なお、新組織体制としては、磯崎達也氏が代表取締役は続投し、弊社から新たに取締役及び監査役数名を派遣する予定です。

〈ニューホライズン キャピタル株式会社〉

事業承継、カーブアウト、成長支援等のプロを多数擁する独立系 PE ファンド。2002 年 2 月に創業した前身のフェニックス・キャピタル時代から、2006 年 10 月の会社分割を経て、通算 20 年超の実績（独立系ファンドとしては最大規模の累積運用資産総額 2,700 億円超）を誇る。現在は、NHC として 6 本目、創業から 10 本目のファンドを運営中。2002 年以来、すべてのファンドの創設時にキーマン（主運用責任者）をつとめてきた安東泰志をはじめとする NHC のチームメンバーは、三菱自動車、ティアック、東急建設、不動建設、世紀東急工業、市田、ツムラ、日立ハウステック、丸茂工業、まぐまぐ、iae ホールディングス、たち吉、武田産業、GENEROSITY、シバウラ防災製作所、川崎ホールディングス、昭和コーポレーション、ローカルフォリオ、ウィルミナ、ウッドテック、NITTO、日本システムケア、岩田産業、エスエーティ、リードプラス、平世美装、BIQREA ホールディングス、トルクシステム、イデアル、黒姫グループ、AC ワークス、タカフジなど、開示可能なエクイティー投資先だけで 約 50 社、全体では 100 社超の日本随一の投資実績を有する。

この件に関する問い合わせ先：

広報担当（IFC）竹江、高杉 連絡先：03-5532-8921